

NISHIMATSU TECHNICAL REPORT

Civil Engineering Technology

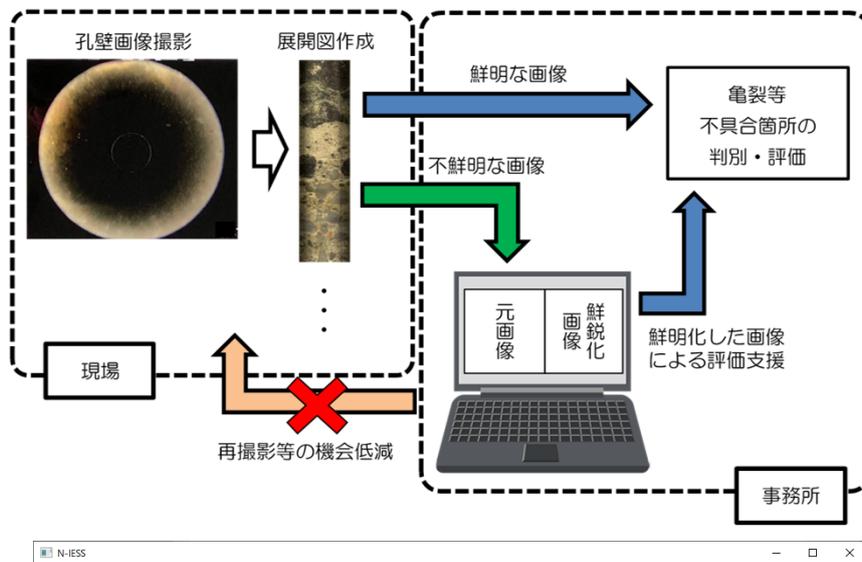
N-IESS(エヌイース)

ボーリング孔壁画像を鮮明化して変状箇所の判別精度を高める画像評価支援システム

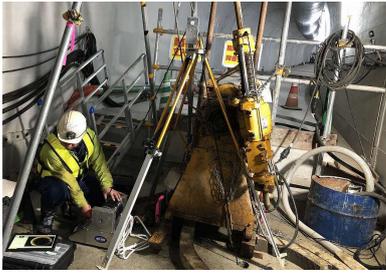
技術概要

N-IESS(エヌイース)は、ダム現場等における地盤調査で用いるボアホールカメラの画像を鮮明化できる画像評価支援システムです。本システムにより、孔壁の乱れや削孔水の濁りなどで不鮮明な画像を処理することで、撮影手戻りや評価時間の削減、地盤の割れ目や破碎箇所などの判定精度の向上を図ることができます。

- ボアホールカメラ画像を鮮明化
- 不鮮明な画像も視認性が高くなり、変状箇所の見落としリスクが低減
- 静止画・動画を問わず対応



処理画像例1（ボアホールカメラ孔壁展開画像）

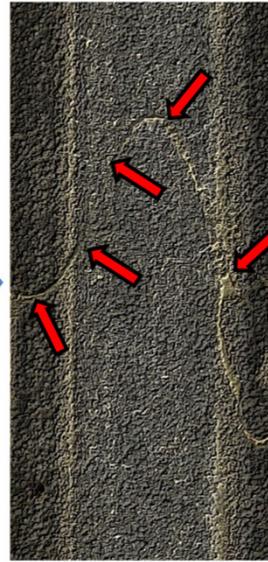


立野ダム建設(一期)工事 [国土交通省九州地整] での試行列

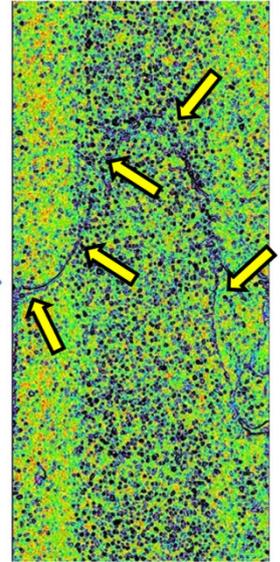
割れ目判定性が従来比で平均50%以上向上



元画像



錯視誘発画像



視認性評価画像

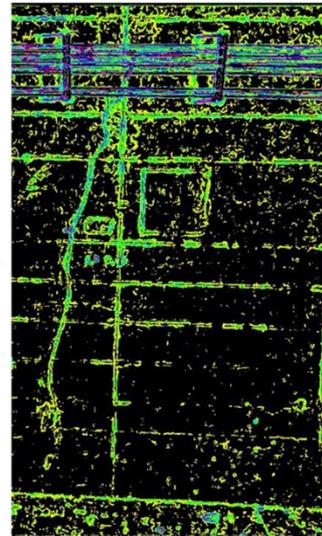
処理画像例2（覆工コンクリート調査画像）



元画像



錯視誘発画像



視認性評価画像

処理画像例3（山岳トンネル切羽画像）



※VISは小島尚人教授（東京理科大学理工学部土木工学科）によって開発されたシステムです。

2022年3月1日 発行

